



兵庫支部NEWS H28年12月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)
兵庫支部ブログ <http://blog.goo.ne.jp/ninom45> メール:hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座:00980-2-245822
口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

今年も和やかに忘年会 総勢17名が参加



(宇都、大西、浜田、安徳、高山、謝、山本、名越、平間、津崎、村上、二宮)
(松山、永翁、後藤、大村、高尾)

12月3日(土)午後6時から「隠れ家ダイニングかなで」(神戸市中央区)において、兵庫支部忘年会が開催された。出席者は関西支部から来られた大西正直副支部長(S39商・右)と宇都龍彦幹事(S45経済・左)のお二人を含め総勢17名が和やかな雰囲気の中楽しい一時を過ごした。



案内状は過去2年間の兵庫支部の行事(支部総会、忘年会、スマレ会、三金会、三金ゴルフ、歩こう会、囲碁の会)に参加された方及び支部運営協力金協賛者と本紙購読者の皆様の合計108人に届出され、返信は77人であった。

出席者は下記の通り(順不同・敬称略)



- 関西支部 大西正直副支部長(S39商) 宇都龍彦幹事(S45経済)
- 兵庫支部 大村実良(S33商) 高尾 巖(S36商) 名越英昭(S37米英)
- 平間正昭(S37商) 村上勝幸(S37商) 二宮慶治郎(S38米英)
- 後藤公一(S38商) 永翁正臣(S41商) 浜田勝義(S44米英)
- 安徳信義(S44商) 松山 仁(S44商) 高山行雄(S45米英)
- 津崎久雄(S44経済)
- 謝 美華(会友) 山本紀代(会友)

兵庫支部親睦会「三金会」会場ご案内



BarSalu(ハルサル)元町

神戸市中央区北長狭通3-31-91
JR元町駅東口北出口から東へ徒歩1分
Tel.078-391-4136(ヨイサル)

「開催日時」

毎月第三金曜日

午後6時~8時予定

会費

約3000円(男女とも)
(実費割り勘)



公立大学法人北九州市立大学 創立70周年記念式典・祝賀会開催

11月4日(金)リーガロイヤルホテル小倉に於いて公立大学法人北九州市立大学創立70周年記念式典・祝賀会が開催された。式典は石原進理事長の式辞で始まり、北橋健治北九州市長と松野博一文部科学大臣(代読)の祝辞があり、最後に近藤倫明学長が「北九大100年の未来に向けて」と題して、パワーポイントを利用して講演された。(左上)

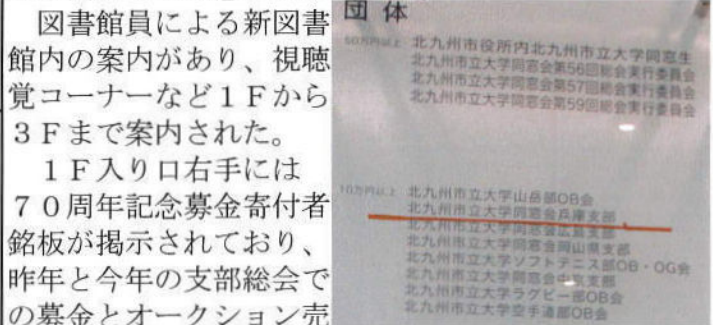
つづいて会場を3Fから4Fに変えて祝賀会が華やかに開催され、ひびきのキャンパスで研究開発された日本酒「ひびきの杜」の酒樽で鏡開きをして、祝賀会が始まった。(右)

吹奏楽団の演奏、チアリーダーの演舞、応援団長の演技などがあり、秋のリーグ戦で優勝した硬式野球部のナインも勢揃いして来春の活躍を誓った。

大学70周年支援募金同窓会実行委員会
第5回全体会議

創立70周年記念式典に先立って、支援募金同窓会実行委員会が新しい図書館1Fのラーニングcommonsにおいて開催された。2週間前に開催された全体会議及び地区別部会での討議事項を集約されたものが配布され、ゴールに向けての決意を新たにしました。

図書館員による新図書館内の案内があり、視聴覚コーナーなど1Fから3Fまで案内された。1F入り口右手には70周年記念募金寄付者銘板が掲示されており、昨年と今年の支部総会で、昨年と今年の支部総会での募金とオークション売上13万円X2回を寄付したので、兵庫支部の名前が10万円以上の欄に明記されていた。図書館前のキャンパスでは青嵐祭が開催中で、会議前のひと時を利用して有松敏幸和歌山支部長が北友会会報入学歓迎号を手を熱心に学生に同窓会の存在をアピールし、卒業後の同窓会活動参加を呼び掛けた。



図書館員による新図書館内の案内があり、視聴覚コーナーなど1Fから3Fまで案内された。1F入り口右手には70周年記念募金寄付者銘板が掲示されており、昨年と今年の支部総会での募金とオークション売上13万円X2回を寄付したので、兵庫支部の名前が10万円以上の欄に明記されていた。図書館前のキャンパスでは青嵐祭が開催中で、会議前のひと時を利用して有松敏幸和歌山支部長が北友会会報入学歓迎号を手を熱心に学生に同窓会の存在をアピールし、卒業後の同窓会活動参加を呼び掛けた。

第183回「歩こう会」11月例会 同窓生故郷シリーズ 周防大島を訪ねて

二宮慶治郎 (S38米英)

離島研究第一人者民俗学者「宮本常一記念館」を訪ねた。

11月13日(日)山陽道を参加者4人、永翁正臣 (S41商) 安徳信義 (S44商) 松山仁 (S44商) と筆者が交互に運転して、神戸から約345kmを走破して、山口県玖珂ICで降りて国道437号線経由で、柳井市東南にある屋代島(周防大島町)へと向った。大島大橋を渡ってすぐ、「本陣茶屋」に昼食するため立ち寄る。玄関入り口天井には巨大な太鼓がかけられていた。(写真左)



料理はミカン入り水炊きとすき焼きに、山口県銘酒「瀬祭」(ダッサイ)だ。



安部首相がオバマ大統領への手土産にしたとか。(右は水炊きすき焼きの具材選択中の面々)

同窓生故郷シリーズでは対馬・博多、大洲市、宇佐市、隠岐の島と続き、今回は山田紘昭氏 (S44商) 出身の周防大島町沖家室島を訪ねた。山田氏は当初参加予定であったが欠席となり、同氏紹介の民宿「鯛の里」に宿泊し、すぐ隣の泊清寺住職さんの講話を聴くことが主目的である。

昼食後、沖家室島(オカラジマ)を目指してドライブ。途中、周防大島町出身の民俗学者宮本常一先生の関連資料が展示されている「周防大島文化交流センター」を訪ねた。(右)

日本の離島をくまなく歩いた研究資料や写真10万枚が収められているが、その一部だけ拝見した。大阪の郵便局に勤めた事があり休日にはよく民俗学の研究に出かけていたとか。センターの横には「星野哲郎記念館」がある。(左)「兄弟船」「男はつらいよ」など多くの名曲の作詞家であり



周防大島町出身である。館内には立派なカラオケ道場があった。二人とも周防大島町の名誉町民である。

記念館を後にして目的地の沖家室島へと南下する。到着後山田氏が予約の泊清寺(ハケジ)住職さんの講話を聴きに出向いた。講話では沖家室島の歴史を聴く。現在人口140人。崩れかけた廃屋が多々見られた。大島にはひとところ6万人位いたとか。宮大工、船乗りがここから全国に出て行ったという。同寺は、参勤交代で江戸に向う九州諸大名や朝鮮通信使一行の宿舎にもあてられ、海の本陣とも言われた。かつて沖家室島は「かむろ千軒」といわれ、人口も4千人に迫り、明治期には日本一の人口密度があったと伝えられている。ネットによると「かむろ会」が東京、大阪、広島やハワイなど各地にあり、当住職が絆を結ぶ要になっておられる。



(泊清寺)

民宿鯛の里に戻りお待ちかねの夕食となる。(写真右)



鯛の刺身からはじまり、団扇えび、さざえの刺身など新鮮な海の幸に、ここでもあの純米大吟醸酒

(松山、永翁、安徳、松本)



「瀬祭」が出てきた。調理を終えた民宿の主人、松本昭司氏も加わり酒を酌み交わす。



明朝は計画を変更して四国に渡り、しまなみ海道を通過して帰ろうということで早々に就寝した。

翌朝、防予フェリーが運航する柳井-松山の航路の途中、周防大島の東端伊保田港に寄港の午前8時過ぎ出発の便に乗船。松山市三津浜港まで約70分の航海で午前9時半に到着。船上から三津浜に住む筆者の同僚で歴史家の江刺氏に電話連絡す。三津浜港で出迎えてくれ、朝食を振舞ってくれた。三津浜港の発着ターミナル対岸の港山までの約80mを結ぶ渡船を利用して港山へ渡り案内して頂く。この渡しは、市営の渡船で市道高浜2号線の一部として無料で年間約4万人の人が利用している。



その起源は室町時代にまで(渡船上の安徳・松山)遡り、港山城への物資輸送などの為始まったという。江戸時代の俳人小林一茶も句会に参加する為乗船したといわれている。

渡船で折り返して、しまなみ海道の入り口今治ICに向う国道にまで案内して頂いた。途中、松山英樹のゴルフ練習場も紹介された。

しまなみ海道をあっという間に通過して、尾道では行列ラーメンを食し、曇り空であったが雨にも遭わず全員無事に帰着。

初日の出・初詣ウォークご案内

諏訪山公園ビーナスブリッジで初日の出を遙拝し、生田神社に初詣予定。

集合時間・場所: 午前6時 JR元町駅西改札口山側

階段を上り、県庁方面へ北進、相楽園横を通り、突き当たり左へ右手急坂を登り諏訪神社右横から山道へ入り暫く登るとブリッジ

連絡先: 二宮090-5010-4954 名越090-8149-2502

「囲碁の会」定例会

毎月第3金曜日午後2時～午後5時半

会場: 阪急囲碁クラブ(写真右)

JR高架下飲食街2F、

阪急神戸三宮駅西口寄り

Tel.078-331-1303

会費: クラブ料金制度に基づく

入場料: 700円

対局料: 1局50円(敗者負担)

初心者歓迎! 気楽にお出で下さい!



KOBE六甲全山縦走大会に参加して

3年連続踏破、所要時間大幅短縮

川崎 豊(S55経営)

今年で3度目の挑戦。今年も当初友人と参加予定でしたが、友人が仕事の都合で参加できなくなり、一人での参加となりました。当日朝、03:20頃目が覚め、ゆっくり朝食を取り、新開地始発電車に乗るが、毎年満員なのに6割程度の乗車率でした。今年はずっと、追加募集をネットでしていたのも納得と感じました。(須磨浦公園到着05:29)



ところが須磨浦公園スタート受付で何故か分かりませんが時間がかかって05:46にやっと受付、56kmへの挑戦が始まりました。(昨年より34分早い出発)昨年と同じく、急な坂道を上り(スタート)階段が続く初っ端。良いペースで進んで行くが、やはり健脚ぞろいの中でも、更に力のある方は、チョットした前との間隔があるとすぐに抜いて行きますが、その健脚の方を見つけ、その方のお仲間のごとくついて行きました。しかし登りでの渋滞が例年同じ所で発生し、妙法寺小学校までは、ほぼ例年と同じペース。高



取山や丸山、菊水山、鍋蓋山でも渋滞が発生しましたが出来る限り前へ進めるように歩いていきました。そして、大竜寺での豚汁が最も良いス



(この日は寒く300円の)タミナ源となり順調に進められ(豚汁が温かく体もホト)れました。中盤でも掬星台でレモン水を1杯頂き直ぐに出発し、記念碑台手前の郵便局まで突っ走り甘酒で体を温める。記念碑台を過ぎてから26歳の若者と二人でガーデンテラスまで併走。その間、会話の中で彼が昨年一軒茶屋でリタイアした為今年に懸ける思いが伝わり、私も同じ気分で先を進める。一軒茶屋に到着すると、最終チェックポイントで番号が650でした。「宝塚に(ただいた甘酒)ランプ点けないで行けるぞ！」と受付の方々の応援を頂いた。

東六甲縦走路まで歩いていく間に、走って来る人達数人に追い抜かれる。東縦走路は下り坂がほとんどで私の得意な領域の為、下りは勢い良く小走りで進み、平坦な道は早足で進めていくと、先程追い抜かれた人達が見えてきて、その人達に付いて行きました。5人位の同じ様な健脚レベルの人達に付いて行くと、先頭の人達が休憩するのか、一人減り、また少し進むと一人減りで、いつの間にやら私が先頭を行く事になって、「みんな付いて来いや！」の気分で先導して行きました。

雑感

喰い意地

山本信司(S37米英)



喰べ過ぎ飲み過ぎや肥満が身体に良くないとは周知の事である。医者は高齢者にロボットの如く同じ注意を繰り返す。健康状態は人夫々である。私に云わせれば、相手をよく見て物を言えと云いたい。昔の医者はよく触診していたが今は殆どが数値判断である。

山田風太郎という小説家が「あと千回の晩飯」という随筆を書いていた。千日の夕食メニューを作っていたそうだ。健啖家でもあったろうが食に対する執念を感じざるを得ない。芸術家の創作意欲の根源の一つは食にあるように思う。医食同源という言葉もある。よく喰べなければ元気は出ない。

塩尾寺手前の急な下り坂でペースを上げると一人での歩行となり、足の痛みに耐えながら進めて行きました。

すると何時の間にやらゴールに到着していた。(16:22)

しかし16:30からゴール者受付開始のため、それまで待機だ。

約50人ほどの列の最後尾。その後も続々とゴールされる方が来られ、ようやく受付開始で、賞状と盾を頂き、記念撮影。



(日没前のゴール) (本当にラッキー)

今年のポイント

- ①一人での参加(一昨年も同じ、昨年は友人と参加)
- ②休憩は大竜寺での豚汁とおにぎり1個、掬星台や六甲郵便局でのホットレモン1杯、甘酒2杯を頂く時の3回と最小限にした。(あとは歩きながら飲食)
- ③トイレは市が原、掬星台下、六甲ガーデンテラスの3回。いずれも待ち時間なし。
- ④寒かったせいかドリンクは甘酒2杯、レモン水と持参した500mmペット3本。食事はおにぎり2個と豚汁、チョコクッキー2個(これが小腹にグッド)
- ⑤ガーデンテラス〜一軒茶屋へ行く途中で一般道ありS字カーブが続いている所で従来の縦走路を1ヶ所ショートカット出来る所を利用(試走時発見!)
- ⑥スタートから一軒茶屋までの歩数は昨年比99.3%とほぼ同じ歩数だが、所要時間が短縮出来たのは、渋滞を回避してマナーを守り前に進めた事、休憩時間を最小限にし、トイレも事前に決めておき待ち時間ゼロ! その結果六甲縦走における歩行していない時間が、昨年の99分に対して今年は25分。その差74分間足を前に進められた。そして最後の東六甲を日の当たる時間に踏破出来た為、大幅に所要時間を短縮できた。

【資料:昨年との比較】各ポイントでの通過時間と所要時間及び昨年との差異

	須磨浦公園	如法寺小	菊水山	市が原	掬星台	記念碑台	ガーデンテラス	一軒茶屋	大平山	塩尾寺	宝塚	所要時間
今年	5:46 (2:14)	8:00 (1:50)	9:50 (1:20)	11:10 (1:15)	12:25 (1:07)	13:32 (0:23)	13:55 (0:35)	14:30 (0:47)	15:17 (0:45)	16:02 (0:20)	16:22	10:36
昨年	6:20 (2:41)	9:01 (2:44)	11:45 (1:40)	13:25 (1:30)	14:55 (1:22)	16:17 (0:30)	16:47 (0:34)	17:21 (1:25)	18:46 (1:18)	20:04 (0:32)	20:37	14:17
差異	0:27	0:54	0:20	0:15	0:15	0:07	0:01	0:38	0:33	0:13		3:41

兵庫支部 1 月定例役員会

平成28年11月27日(日)午後1時から、神戸市青少年会館6Fサークル4において兵庫支部定例役員会が開催された。



(津崎、檜崎、西村、永翁、名越、大村、安徳、松山、浜田、高山)

会議は名越支部長が議長となり、出席役員11人、委任状提出者5人で役員総数18人の過半数で定足数を満たしていることを確認して議事が進められた。

報告事項**1. 同窓会本部行事参加者の報告****①平成28年度第2回評議会・70周年記念事業支援募金同窓会実行委員会**

出席した名越支部長兼評議員が報告。詳細は本紙11月号に掲載されているので省略。

②女性の会・第1回全国支部役員の集い

出席した西村幹事・檜崎監査が報告。本紙11月号参照

③第66回総会・懇親会

出席者は名越支部長、安徳幹事長、高山幹事、浜田幹事、西村幹事、檜崎監査の6人。総会パンフに掲載の兵庫支部の広告披露

④功労賞受賞者

高山幹事・浜田幹事の2人。夫々に報告。

⑤70周年記念同窓会ゴルフ大会

参加者安徳幹事長。101人中62位(グロス51 ネット79.8 同窓会HPより)だったが、ニアピン賞を取ったと。

⑥70周年記念式典・祝賀会

名越支部長出席。別項参照

2. 歩こう会11月例会周防大島旅行

参加者4人。松山幹事から報告。別項参照

3. 第27回兵庫・関西囲碁交流会

本紙11月号参照。

4. 関西支部「滋賀の秋を楽しむ会」

名越支部長参加。詳細別項参照。

5. その他

・同窓会会費完納者小村弘一氏が報告された。

協議事項**1. 忘年会開催打ち合わせ**

- ・高山幹事から出欠状況報告。返信108人中77人。
- ・役割分担：受付/浜田、会計/津崎、進行/高山 写真/二宮

2. 自主的活動事業 — 平成の会再構築について

- ・平成の会再構築を一任した三宅幹事の3月以降の実施を目指すとの報告で、年度内実施が困難。
- ・別の事業を再検討することとし、歩こう会の見直しなど目指す。

午後4時半閉会。

以上

おむすび大好き♡ I Love を結び

三村晴美(S60経営)

梅ちりめんチーズの焼きおむすび

第38回は「梅ちりめんチーズの焼きおむすび」です。カルシウムたっぷりのおむすびです。

(材料)

ご飯…茶碗

軽く一杯

梅干…2個

ちりめんじゃこ

適量

とろけるスライス

チーズ…2枚

オリーブオイル…適量



(作り方)

1. 温かいご飯でおむすびを作ります。
2. 梅干は、種を取り、つぶしておきます。
3. おむすびの上に、とろけるチーズをのせ、梅をめり、ちりめんじゃこをのせます。のせる順番を梅・ちりめんじゃこ・チーズにしてもよいです。
4. アルミホイルにオリーブオイルを塗り、くしゃくしゃにします。
5. 4におむすびを並べてオーブントースターで焼きます。

梅の酸味とまろやかなチーズの絡み合い、ちりめんじゃこのカリッとした触感が美味しいおむすびです。

関西支部「滋賀の秋を楽しむ会」

名越英昭(S37米英)



11月26日(土)午前11時京阪京津線浜大津駅に集合し、徒歩3分で琵琶湖遊覧船ミシガン号乗船場に到着。参加者は15人。初めて支部行事に参加するという人も。

11:40発の80分コースに乗船。ミシガンステーキを賞味し、甲板に上がると、好天に恵まれて暖かく絶好のクルージング日和。下船後記念写真撮影(上)

所用で帰る数人を除き、電車で石山寺駅へ向い石山寺を訪問する。本堂に参拝して、紫式部像にお会いし(右)、紅葉はほぼ終わりのようだが境内を散策して、JRと京阪に分かれて帰路に就いた。

**「囲碁の会」11月例会**

左から 名越英昭2級(S37米英)
平間正昭3段(S37商)
赤松初夫2級(S40米英)
奥本 進4級(S39商)
安徳信義4級(S44商)

**「三金会」11月例会**

左から 二宮慶治郎(S38米英)
大村実良(S33商)
奥本 進(S39商)
平間正昭(S37商)
名越英昭(S37米英)
安徳信義(S44商)

